



Suzuyo Shoji Co., Ltd
1-3 Sakae-cho, Aoi-ku, Shizuoka-city
420-0859 Japan

平成28年2月9日

鈴与商事ニュースリリース

鈴与商事株式会社

鈴与菊川バイオガスプラント 完工のお知らせ

鈴与商事株式会社（本社：静岡市清水区入船町11-1／本部：静岡市葵区栄町1-3 鈴与静岡ビル／資本金：20億円／代表取締役社長：脇本省吾）は、静岡県菊川市において建設工事を行ってありました「鈴与菊川バイオガスプラント」が今般完工の運びとなり、4月より本稼働することになりましたので、お知らせいたします。

1. 目的

鈴与菊川バイオガスプラントは、廃棄物の減容、エネルギーの有効利用、ゼロエミッションを推進するためのバイオガス発電システムです。静岡県、菊川市、および、地元自治会と連携し資源循環を図り、エネルギーの地産地消と地球温暖化防止に寄与することを目的としております。

2. 発電プラントの概要

発電には、鈴与グループで食品製造業を営むエスエスケイフーズ株式会社（本社：静岡市葵区栄町1-3／代表取締役社長：下山田英一）、農業生産法人のベルファーム株式会社（本社：菊川市西方4200／代表取締役社長：阿部齊／以下、ベルファーム）から排出される食品系・農業系の廃棄物と地域から排出される刈草などの有機系廃棄物を活用します。有機系廃棄物は1日あたり約6.7tを搬入し、これをメタン発酵させ取り出したバイオガスを発電機の燃料として利用します。年間の想定発電量は約1,051千kWhで、一般家庭の約200世帯分の年間使用量に相当します。（プラントの概要は後記）

3. 取り組みの特徴

鈴与菊川バイオガスプラントは、発電だけでなく、発電にともなって排出されるメタン発酵後の消化液や排気ガスの再利用にも取り組みます。

(1) メタン発酵後の消化液等の残渣の活用

有機系廃棄物をメタン発酵させた後の消化液等の残渣は、露地作物や施設農業、茶業で肥料として活用できるよう静岡県農林技術研究所（磐田市）、および、同茶業研究センター（菊川市）と連携して研究を進め、再び地域に還元することを目指します。

(2) バイオガス燃焼後の排気ガスの活用

発電用に燃焼させたバイオガスの排気ガスについては、大阪府立大学大学院工学研究科安田准教授、および、株式会社公害防止機器研究所（大阪府寝屋川市／代表取締役社長 浅野秀明）の技術支援のもとNO_xを除去しCO₂を精製し、ベルファームにて、農作物の光合成促進に利用します。このNO_x除去技術は、日本をはじめとするどの先進国でも導入されていない斬新的なものです。

静岡県は、食品製造業・施設農業において全国屈指の地域でもあることから、弊社は、菊川バイオガスプラントを通じて得られた知見をもとに、静岡県内を中心にバイオガスシステムの普及を図ります。そして、未利用バイオマスの有効利用による廃棄物とエネルギーコストの削減を推進することで、資源循環型社会の形成の一助となるよう努めてまいります。

〈プラント概要〉

◆設置場所	菊川市西方4035番他1筆
◆原料とする 有機系廃棄物	・ 前述2社より排出される食品加工残渣と農作物残渣を主原料とし、地元の刈草も活用する。 ・ 総量は1日あたり6.7tを見込む
◆発電規模	120kW（60kW発電機 2機）
◆想定発電電力	約1,051千kWh／年 ※一般家庭200世帯分の年間使用量に相当
◆CO ₂ 利用効果	878.2t-CO ₂ ／年 ※食品加工残渣を産業廃棄物処理した場合と比較してのCO ₂ 利用効果
◆総投資額	約9億円

【資料】

〈廃棄物の処理フロー〉

